



2018年10月のロータリーレートは1ドル=112円

今年度のテーマ



インスピレーションになろう



2018-19年度RI 会長
バリー・ラシン氏
East Nassauロータリークラブ
パハマ (ニュープロビデンス島)



2018-19年度ガバナー
若林啓介氏 (富山RC)



例会便り

第 934 回

10 月 4 日

例会出席 21/43 48.84 %
ホテル日航金沢 5 F

布施美枝子 S.A.A.

点 鐘

1. 国 歌『 君が代 』
2. ロータリーソング
『 奉仕の理想 』
3. 四つのテスト
4. 武藤清秀会長挨拶



《食 事》

5. ゲスト・ビジターのご紹介

(1) ゲスト

[卓話者] 金沢工業大学名誉学長・教授・工学博士 石川憲一 (いしかわ けんいち) 様

[江守会員ご家族] 江守 志野 (えもり しの) 様

深澤 奈都子 (ふかさわ なつこ) 様

(2) ビジター 金沢香林坊RC 村野元孝 (むらの もとたか) 様

6. 今月の誕生者の紹介

6 日 藤間 勘菊 会員

7. 幹事報告・委員会報告

〔幹事報告〕東海林也令子副幹事：



①来週の例会は5F「松の間」で行います。その後、理事会を行います。

②ガバナーマンスリー第4号の訂正が届きましたので、該当ページのコピーをは
さんで棚にお配りしています。

8. ニコニコBOX紹介 ¥6,000- 本年度¥110,000- 残高¥4,207,029-



武藤清秀会長：皆さん今晚は。石川先生卓話よろしくお祈いします。江守志野様、深澤奈都子様、楽しんでいってください。

江守巧・道子会員：石川先生、本日はお忙しい中 卓話を心よくお引き受け頂き有難うございます。どうぞ宜しくお願いします。

大路孝之会員：石川様、今日の卓話楽しみにしています。よろしくお祈いします。

9. 卓 話

石川憲一氏「金沢工業大学における教育改革」

紹介者：江守道子会員



静岡県富士高校出身

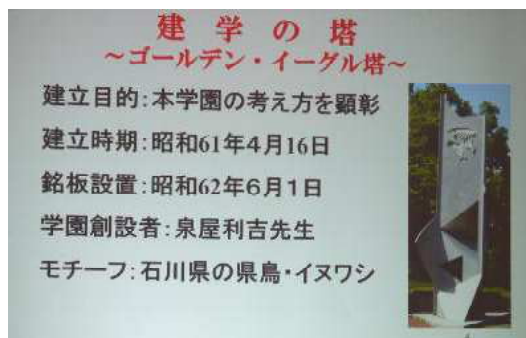
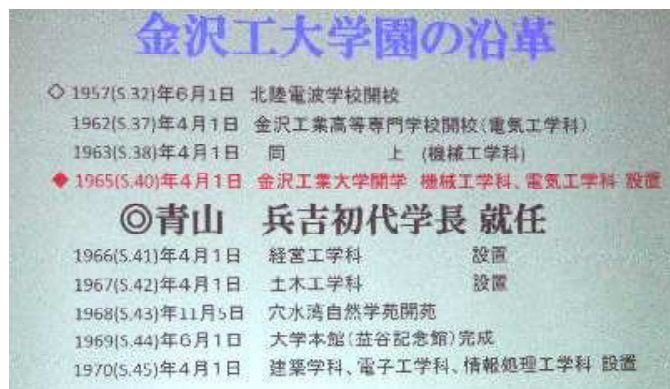
■略歴

金沢大学工学部精密工学科卒。同大学大学院工学研究科修士課程(精密工学)修了。1977年金沢工業大学教授、1984年～1989年機械工学科主任、1990年～1993年教務部長、1993年副学長、1994年第5代学長を歴任、2016年名誉学長。

■専門分野

専門：精密工学・振動応用・技術者教育

論文・著書：「振動応用工学」、「日本



刀の科学」、「振動応用技術」(共著)、「硬脆材料の高効率・高精度スライシング加工」(編著)、「図解砥粒加工技術のすべて」(共著)ほか

受賞：(財)精密測定技術振興財団「高城賞」、(公社)砥粒加工学会論文賞、(公社)日本工学教育協会論説・論文賞ほか

■横顔

男性的な風貌、堂々たる体躯の持主であるが、意外に神経は細かく酒も全然飲めない。学生の中には教育・研究指導も精力的できびしかったため、本研究室ではじめて目を開いた者も少なくない。

■趣味

読書、日本刀の科学的研究、スポーツ観賞

■近況

2015年度末を以って、22年間に亘った学長職を任期満了に伴い退任。これからは一步離れた立場から学園の発展に尽力すると共に、対外的には(公社)日本工学教育協会理事や精密工学会フェロー等として微力を尽しています。

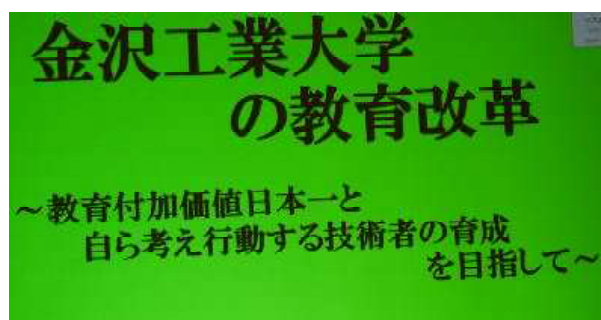
卓話

歴代学長始めスタッフの紹介、きめ細かい教育方針等 スライドを使い説明されました。

10. 質疑応答

11. 謝辞・謝礼

点 鐘



COP21パリ協定とエネルギーミックス（番外編）
COP23で見えてきた課題



2017年11月ドイツのボンで「COP23」が開かれた。2020年に始まる地球温暖化対策の枠組み「パリ協定」の準備が進んだ。二酸化炭素削減目標に各国が知恵を絞る中、日本の存在はかすみがちでその課題を探った。

COP23の会場周辺で関連イベントが開かれる中、「カーボンプライシングリーダーシップ連合」のブースがとりわけ賑わっていた。同連合は欧米など約140の企業で構成。各国政府などに効果的なカーボンプライシング（炭素の価格付け、CP）の制度設計を働きかける。オランダの化学大手のCEOは「温暖化対策は必要。企業も全面協力する」と訴えた。

カーボンプライシング（CP）とは、二酸化炭素など温暖化ガス排出に価格を付け、企業などが排出量に応じて負担する制度である。CPは主に炭素税と排出量取引がある。CO₂を排出すれば税負担などが増える仕組みで、企業の排出削減を促す。前途のオランダのCEOなどは「技術力の高い企業が生き残る」と断言していた。導入は欧米が先行フィンランドが世界で初めて取り入れ、北欧や欧州中心に広がり、排出量取引はEU、韓国、北米の北東各州、カリフォルニア、中国の一部自治体が導入済みだ。積極的な企業も目立つ、15年に欧州の石油、ガス6社に各国政府などCPの導入拡大を要請、米インテルなど14社も同年国際的な炭素市場を求める提言を公表した。

地球環境戦略研究機関の後藤歩氏は「技術をもつ企業は早く声を上げて有利な制度設計を促す狙いがある」と話す。しかし日本の動きは鈍い。12年に「地球温暖化対策税」と呼ぶ炭素税を導入したが、CO₂排出量1トン当たり289円、同じくスウェーデン1万6000円などより比較にならない程安い。2050年にCO₂を7割減らすには最低12兆円の炭素税が必要と言う。10月の環境省検討会では経団連地球温暖化対策グループの代表は「炭素税拡大や排出量取引導入に反対する」と明言した。本格導入が必要と訴える環境省と対立している。導入支持の数少ない日本企業の内の一つリコー役員は「乗り遅れると世界企業などとの取引の機会が失われ商機を逃す」と語る。事実アップルなどの世界企業は取引先に温暖化対策を求め、対応がなければ取引を打ち切るとの観測もある。世界がカーボンプライシング（CP）導入に流れつつある中で日本企業だけが地球環境に一切考慮しない態度を貫けるか疑問である。

11月15日 日本の中川環境相は2国間クレジット制度（JC）の実例を報告、その重要性を訴えた。発言が示すのは、途上国など温暖化ガス削減に力を貸せば、減った分は「排出枠」として日本の削減分として見なす制度である。実は日本の二酸化炭素排出量は世界の2.7%に過ぎず、ゼロにしても世界の大幅削減には及ばない。地球的規模で二酸化炭素排出量を減らす為には十分低くおさえている先進国の排出量をさらに低くするよりも、むしろ主要途上国の排出量を削減の可能性は2050年の時点で、日本の年間排出量の7倍の97億トンにのぼる。高い技術力を持つ日本企業のビジネスチャンスとなる。

国連は50年をめどに長期削減戦略の提出を各国に求めている。日本は「50年に温暖化排出ガス80%減」を閣議決定している。しかし環境問題の専門家に言わせると、2100年までに地球温暖化を2℃以下に達成する為には100%減が必要で、2060年からはマイナスとならなければならないと厳しい予想をしている。



実りの秋

クラブ例会予定

- 10/11 山下智茂氏
：稲置学園顧問・星稜高
校野球部名誉監督
〔理事会〕
- 10/18 バジュラチュリア ソ
バナ氏：元米山奨学生
- 10/25 卓話なし
- 10/27～28 地区大会：富山市
- 11/1 振替休会

2018～19理事役員名

役員（8名）

会長 武藤清秀 会長エクト 大路孝之 副会長 江守道子 幹事 井上正雄
副幹事 東海林也令子 会計 西村邦雄 S.A.A. 助田忠弘 直前会長 上杉輝子

理事（14名）

常任理事：石丸幹夫 吉田昭生

理事会オブザーバー・アドバイザー：パストガバナー 炭谷亮一 地区パスト幹事 岩倉舟伊智

委員会	クラブ管理 運営委員会	会員組織 委員会	広報委員会	奉仕プロジェクト委員会			
委員長	布施美枝子	表 靖子	上田喜之	野村礼子			
副委員長	浦田 哲郎	宮永満祐美	矢来正和	魏 賢任			
委員	①親睦 浦田哲郎 後出博敏	①会員増強 東海林也令子 井口千夏 上杉輝子	①広報 高田重男 辰巳クミ	①職業奉仕 谷伊津子 大沼俊昭 相良光貞 道端勝太	②社会奉仕 土田初子 北村信一 吉田昭生	③国際奉仕 R財団その他 岩倉舟伊智 炭谷亮一 太平政樹	④青少年奉仕 国際青少年交換 江守道子 金 沂秀
	②例会 例会 仲島康雲 杵屋喜三以満 永原源八郎	②オリエンテーション 宮永満祐美 野城 勲	②モニター情報 水野陽子 竹田敬一郎			米山奨学会 藤間勲策 魏 賢任	
	SAA 助田忠弘 衣川昭浩		③会報 矢来正和 石丸幹夫 柿木健雄				
	CSA 木下真知子 小浦勇一 柴田未来						

例会場 ホテル日航金沢5F〒920-0853金沢市本町2-15-1 T076-234-11111 例会日時 木曜日19：00

事務室 ライブ1ビル2F〒920-0852金沢市此花町3-2 T076-262-2211 F076-262-2241

E-mail khrc@quartz.ocn.ne.jp ホームページURL http://100rc.jp/

事務局執務時間 月火水金10：00～15：00 休憩時間12：00～13：00 休日（土日祝日）